

ブロフジョイント V-M型

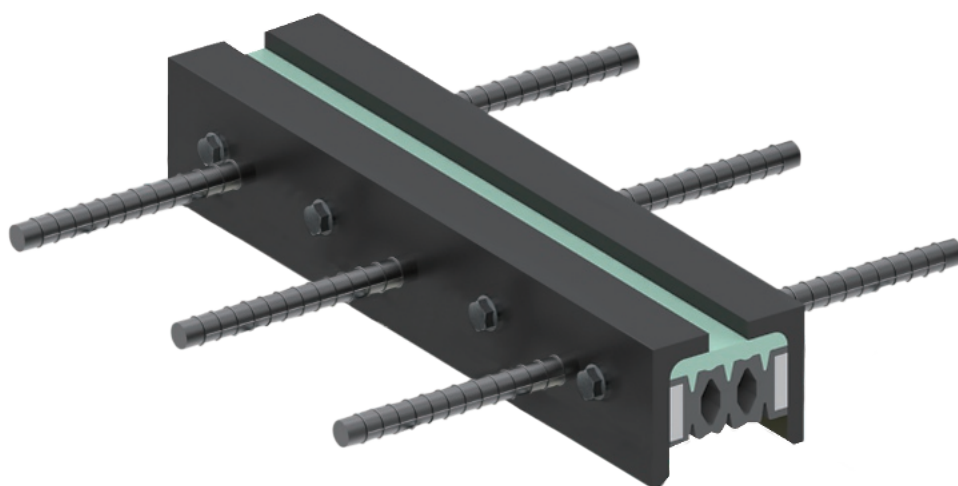
縦 目 地 用

はじめに

ブロフジョイントは、昭和37年に最初のモデルが発売されて以来、常に一貫として「伸縮継目部にも車輪圧に対する支圧強度をもたせ、道路面の一部として機能させる」という基本理念のもと設計、製作、施工され、各種橋梁、長大橋、斜橋などに使用されております。

今日の道路事情に対応するため橋梁の拡幅工事において、既設部と拡幅部に撓み量の差が生じる可能性があります。ブロフジョイントV-M型は既設部と拡幅部の段差を吸収できるように縦目地用として開発した伸縮装置です。

ブロフジョイントV-M型(縦目地用)の基本構造



※NETIS登録番号 KT-230293 橋梁用伸縮装置ブロフジョイント用接着剤

特 長

1. 耐久性

表面が鋼製でシンプルな構造のため、耐久性に優れています。

2. 止水性

ボルト固定されたゴムパッキンと弾性シール材の二重構造により、止水性に優れています。

3. 施工性

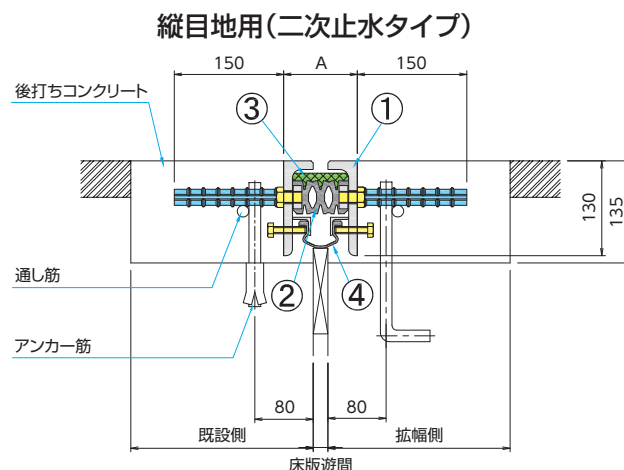
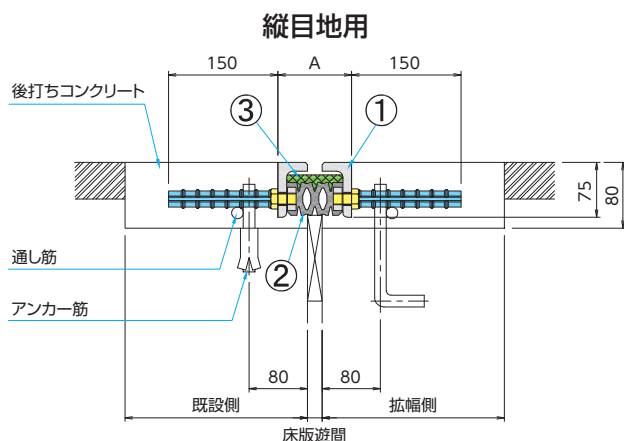
簡単な構造で比較的軽量なため施工性に優れています。

施工上の注意点

段差が残留しない施工方法として下さい。

残留すると、フェイスプレートに段差が生じるため、走行に支障をきたします。

基本構造断面図



標準寸法表

単位: mm

規格	許容伸縮量	許容段差量	A	重量 (kg/1.8m)
V-M型-20用	20(10)	10	76~96	57
V-M型-30用	30(15)	15	86~116	62
V-M型-20用(二次止水タイプ)	20(10)	10	76~96	81
V-M型-30用(二次止水タイプ)	30(15)	15	86~116	87

※ () 内の許容伸縮量(せん断変形量)は、製品延長の都合により分割設置をした場合とする。

標準仕様

番号	名称	材質
①	保持金物	SS400
②	ゴムパッキン	CR+SS400
③	弾性シール材	STシールB
④	二次止水パッキン	CR

弾性シール材の物理的性質

項目	単位	規格値	試験値	試験方法
比重	-	1.1±0.2	1.1	JIS K 6251 準拠
硬度	度	8±5	5	SRIS 0101-1968 準拠
最大引張応力	kN/m ²	80以上	274	JIS A 5758 準拠
破断時伸び	%	600以上	865	JIS A 5758 準拠
50%圧縮強さ	kN/m ²	70±50	46	JIS K 6767 準拠

ゴムパッキンの物理的性質

項目	単位	規格値	試験値	試験方法
引張強さ	N/mm ²	15以上	19.9	引張試験 JIS K 6251
伸び	%	300以上	530	引張試験 JIS K 6251
硬さ	-	A55±10	A58	硬さ試験 JIS K 6253
引裂強さ	N/mm ²	30以上	60.5	引裂試験 JIS K 6252
老化試験	引張強さ変化率	%	20以下	空気加熱老化試験 JIS K 6257 (70℃×96hr)
	伸び変化率	%	20以下	
	硬さ変化	-	10以下	
圧縮永久ひずみ	%	25以下	10	圧縮永久ひずみ試験 JIS K 6262 (70℃×24hr)

プロフジョイントに使用する鋼材は、JIS 規格品を採用しております。

NEXCO構造物施工管理要領規格 (H22)

当社は伸縮装置施工も請け負います。お問い合わせください。

FTK 東京ファブリック工業

支 店

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島



お問い合わせ先

本 店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL: <https://www.tokyo-fabric.co.jp/>